

2020年2月21日(金)

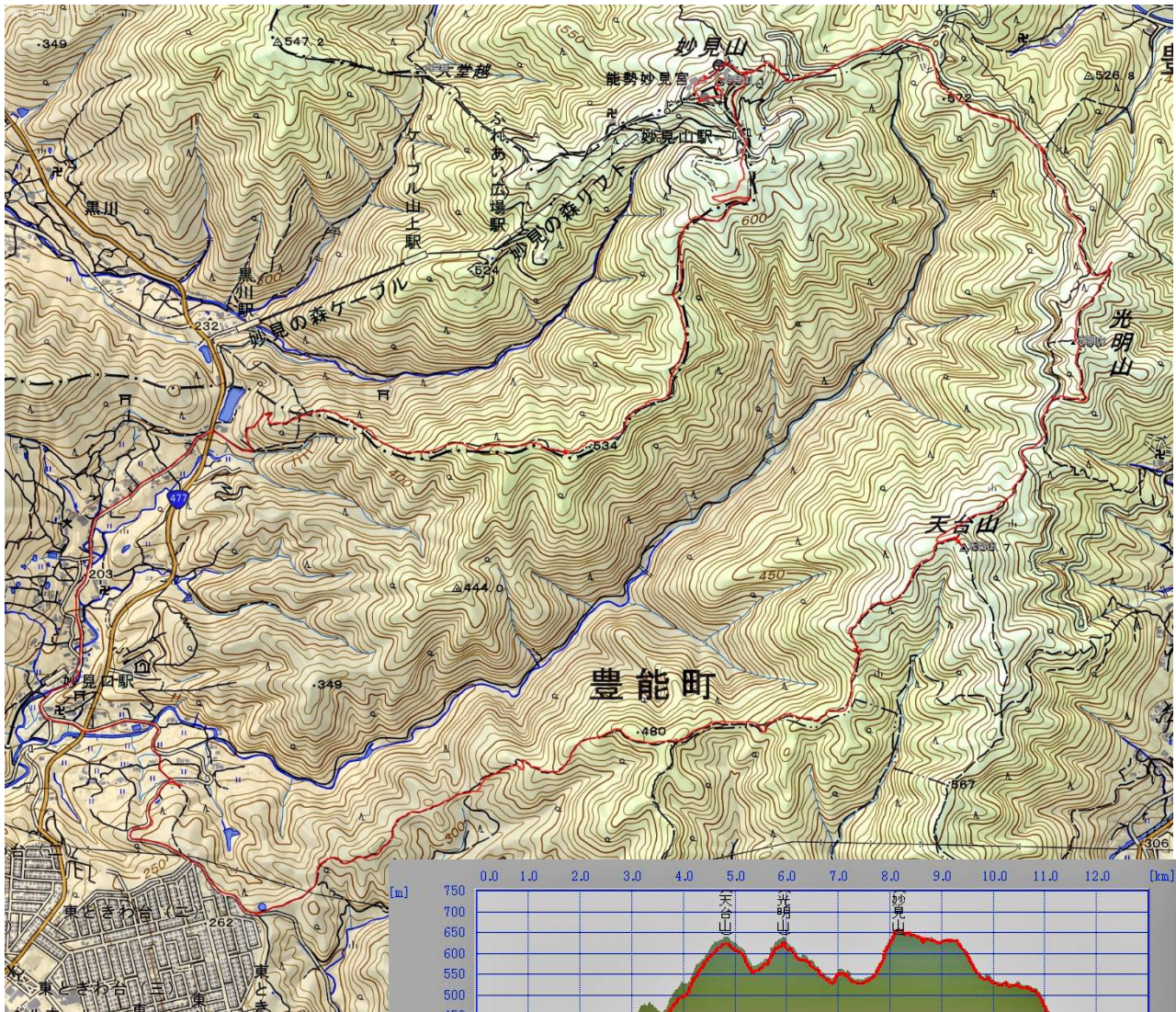
北摂「妙見山」

単独行

コース距離：13.2km、 所要時間：5時間14分（休憩含む）

コースタイム： 妙見口駅(9:44)→(10:10)東ときわ台登山口→
(10:14)青貝山分岐→(11:41)天台山→(12:07)光明山→
(12:58)妙見山→(13:29)上杉尾根→(13:52)休憩
休憩(14:20)→(14:45)上杉池→(14:58)妙見口駅

* 山行軌跡



* 行程グラフ



アプローチ： 阪急水無瀬(8:12)⇒(8:37)淡路(乗換)(8:38)⇒
(8:44)十三(宝塚線へ)(8:53)⇒(9:10)川西能勢口(能勢電へ)
川西能勢口(能勢電へ)(9:14)⇒(9:30)山下(妙見線に乗換)
(9:33)⇒(9:41)妙見口

山行記：

駅前でダウンジャケットを仕舞ってから歩き始め東ときわ台住宅の横から登山道に入り青貝山分岐を少し過ぎた処で体も温もり山シャツを脱いで衣服調整を行う。

予測していた以上に登りが続き2時間かかって天台山に到着し三角点にタッチしてから写真を撮り、引き返して登山道に戻り先に進む。

光明山へは一旦道路に出て暫く進んでから登山道に入り進んでいく光明山は三角点はなく山の表示板は設置されていた。

妙見山への道も一般道と山道を繰り返して辿り着き、シンボルの剣の塔の横に三角点が在ったので写真を撮ってから周りを周り、星嶺と名付けられた立派な建物が在り、以前に来たときは(車で)無かった物だ。

下山口を探しに駐車場に行ったが大きな駐車場に一台だけしかなく寂しい限りだ、奥まで進んだが下山口が見つからず淵を回り込んでいて見付けることが出来た。

下山は上杉尾根を下っていくと登って来る3名の登山者とすれ違いながら下っていく、所々灌木の隙間から眺望できる所があるが休める所がなく半分ほど下ってきてベンチが設置されていたので休憩する。

一人の方が下山され来て休まれる、地元の方で最近妙見山だけ何回も登っているとのこと、水分補給をして先に下山された。

20分近く休憩してから下山していく、駅前の店でししにくの煮込みうどんを食して帰途に就く。



のどかな風景



東ときわ台登山口



登り始めの登山道より妙見山



植林の松木を抜けて行く



登山道の標識は整備されている



天台山の三角点



一旦道路に出て



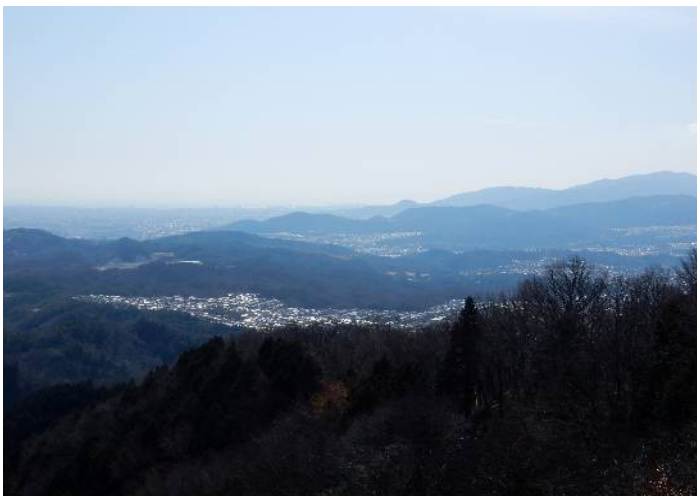
光 明 山 山 頂



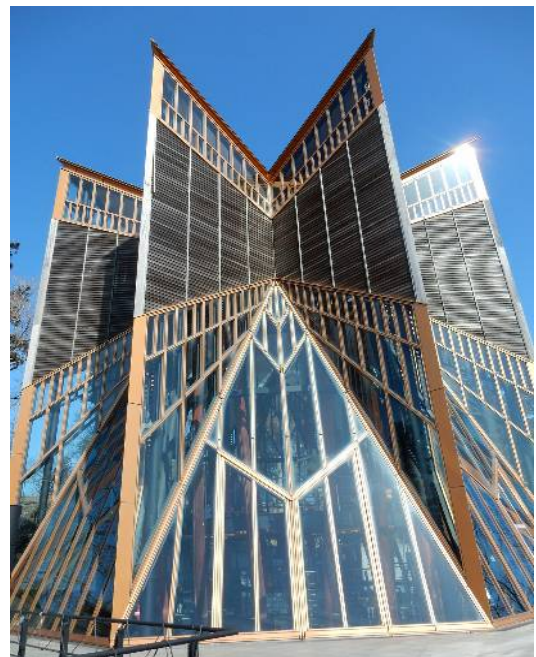
妙見山三角点

妙見山のシンボル
剣の塔

星峰という建築



上杉尾根より川西能勢方面



妙見山頂より
川西能勢方面

